

CentreCOM® 9812T/9816GB リリースノート

この度は、CentreCOM 9812T/9816GBをお買いあげいただき、誠にありがとうございました。このリリースノートは、取扱説明書とコマンドリファレンスの補足や、ご使用前にご理解いただきたい注意点など、お客様に最新の情報をお知らせするものです。最初にこのリリースノートをよくお読みになり、本製品を正しくご使用ください。

1 ソフトウェアバージョン 2.4.4 pl03(2.4.4-03)

2 本バージョンでの制限事項

2.1 DHCP ポリシーの設定について


 「コマンドリファレンス」/「DHCPサーバー」/「DHCPポリシー」

DHCP ポリシーを複数設定して保存すると、ポリシー名が昇順(英字はアルファベット順、数字は小さい順)にソートされて設定スクリプトファイルに書き込まれます。

CREATE DHCP POLICYコマンドのINHERITパラメーターで既存のポリシーを継承する設定を行う場合には、次の例のように、新規に作成するポリシー名が昇順で後になるようにしてください。

例: CREATE DHCP POLICY=**BBB** LEASETIME=7200 INHERIT=**AAA**


2.2 ポートの帯域制限の設定について

 「コマンドリファレンス」/「スイッチング」/「ポート」

SET SWITCH PORT コマンドのEGRESSLIMITパラメーターにNONEを指定すると(デフォルトはNONE。一度別の値に設定しNONEに戻した場合)、0(ゼロ)を指定したときと同じ(パケットを送信しない)動作になります。


このような設定変更を行った場合は、設定を保存し、本製品を再起動してください。

2.3 クラシファイアの設定について

 「コマンドリファレンス」/「スイッチング」/「クラシファイア」


- CREATE CLASSIFIER コマンドでIPXSSOCKETとIPXD SOCKETパラメーターを指定しても該当のパケットが正しく分類されません。
- CREATE CLASSIFIER コマンドでIPXDADDR/IPXSSOCKET/IPXD SOCKETパラメーターを指定してIPXの設定を行った後、SET CLASSIFIER コマンドでMACTYPEパラメーターにL2UCASTを指定して設定を変更しても、該当のパケットが正しく分類されません。このような設定変更を行った場合は、設定を保存し、本製品を再起動してください。
- CREATE CLASSIFIER コマンドでSVLANパラメーターを指定し、ハードウェアパケットフィルターのフィルターエントリで該当のクラシファイアを使用した場合、指定したVLAN宛のパケットが破棄されます。

2.4 DHCP リレー(DHCP メッセージ最大転送回数)の設定について

 「コマンドリファレンス」/「IP」/「DHCP/BOOTP リレー」


DHCP メッセージのhopsフィールドの値が、SET BOOTP MAXHOPS コマンドで指定した値(最大転送回数)より大きい場合でも、同メッセージが破棄されずに転送されます。

2.5 RIPの経路情報について

 「コマンドリファレンス」 / 「IP」 / 「経路制御(RIP)」


FLUSH タイマーが過ぎても、無効(メトリック 16)となった経路情報が送出されます。

2.6 ユーザー作成時のエラーメッセージについて

 「コマンドリファレンス」 / 「運用・管理」 / 「ユーザー認証データベース」

ADD USER コマンドでユーザーを作成するときに、PASSWORD パラメーターに65文字以上の文字を指定すると、上限は32文字であるにも関わらず、「上限は64文字(Parameter PASSWORD, string too long; maximum length is 64.)」というエラーメッセージが表示されます。

2.7 ハードウェアパケットフィルターの出力スイッチポート設定について

 「コマンドリファレンス」 / 「スイッチング」 / 「ハードウェアパケットフィルター」


ADD SWITCH HWFILTER の DPORT パラメーターにポート1(またはポート1を含む複数ポート)を指定した場合、該当のフィルターエントリーが正しく動作しません。ただし、すべてのスイッチポートを意味する ALL を指定した場合は正しく動作します。

2.8 DVMRPについて

 「コマンドリファレンス」 / 「IP マルチキャスト」 / 「DVMRP」


DVMRP 使用時、TTL=1 のマルチキャストパケットを破棄せずにルーティングします。

2.9 SNMP MIB オブジェクトについて

 「コマンドリファレンス」 / 「運用・管理」 / 「SNMP」


MIB オブジェクト [ifXEntry] の一部がカウントされません。

2.10 IGMP スヌーピングについて

 「コマンドリファレンス」 / 「IP マルチキャスト」 / 「IGMP」


- IGMP スヌーピング使用時、DVMRP のパケットをスイッチングせずに破棄します。
- IGMP スヌーピング使用時、ルーティングパケット(RIP, OSPFなど)をスイッチングするときに複製します。

2.11 ARP カウンター「arpTx」について

 「コマンドリファレンス」 / 「IP」

SHOW IP COUNTER = ARP で表示される ARP カウンターの arpTx(送信 ARP パケット数)が正しくカウントされません。

2.12 マルチキャストパケットについて

 「コマンドリファレンス」 / 「IP マルチキャスト」

デフォルト VLAN 以外の VLAN で、マルチキャストパケットをフラッドिंगしません。ただし、ENABLE IP IGMP コマンドで IGMP が有効に設定されているときは、上記問題は発生しません。

デフォルト VLAN 以外の VLAN に RIP v2 および OSPF ルーターを接続する場合は、ENABLE IP IGMP コマンドで IGMP を有効にしてください。

3 コマンドリファレンスの補足・誤記訂正


付属のCD-ROMに収録されている「CentreCOM 9800 シリーズ コマンドリファレンス 2.4 (Rev.A)」の補足事項です。

3.1 スタティックルートの設定について

 「コマンドリファレンス」 / 「IP」 / 「経路制御(スタティック)」


ADD IP ROUTE コマンドでスタティックルートを設定する場合、NEXTHOP パラメーターで指定するネクストホップルーターの IP アドレスは、INTERFACE パラメーターで指定する IP (VLAN) インターフェースと同じサブネットにある必要があります。異なるサブネットに属する IP アドレスを指定した場合は、エラーによりコマンドは実行されません。

3.2 クラシファイア(MACTYPE パラメーター)について

 「コマンドリファレンス」 / 「スイッチング」 / 「クラシファイア」

CREATE (SET) CLASSIFIER コマンドの説明で、MACTYPE パラメーターの選択肢として「L2UNICAST(ユニキャスト)」が記載されていますが、正しくは「L2UCAST(ユニキャスト)」ですので、訂正してお詫びいたします。

3.3 VLAN 登録数について

 「コマンドリファレンス」 / 「スイッチング」 / 「バーチャルLAN」

CREATE VLAN の「備考・注意事項」に、「VLAN は 4090 個 (VLAN default を含む) まで作成できる」とありますが、正しくは「2048 個 (VLAN default を含む)」ですので、訂正してお詫びいたします。なお、VID は 2 ~ 4090 の範囲で設定可能です。

